

特集

措置入院者等の 退院後支援の展開

全国の措置入院の現状およびガイドラインの活用について

藤井千代

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築における

保健所と保健師の役割 中原由美

兵庫県との取り組み 措置入院者等への継続支援体制構築 吉井絢子

滋賀県の取り組み

措置入院者等の再入院予防のための支援体制づくり 門田雅宏、他

千葉市の取り組み

多機関による措置入院者の退院に向けた支援調整 松田正巳、他

沼津中央病院の取り組み

措置入院者の地域包括支援の在り方 杉山直也、他

PHOTO

沼津市の取り組み 自宅での健康づくりを応援する

「AT HOME プロジェクト」 江間 梓

TOPICS

虐待防止への家族支援オープンダイアログの試行

児童相談所における職員研修の取り組み 門間晶子

特別記事

新型コロナウイルス感染症流行下の保健師課程教育実習

オンライン実習の課題と可能性 細川陸也、他

連載

「おも★けん!」 新任期でもできる! おもしろ健康教育のつくり方

伊藤純子、高橋佐和子

ネウボラから学ぶ 日本の母子保健 再構築 横山美江

ポジティブな地域づくりを考える

公共哲学×ポジティブ心理学から見る公衆衛生活動 島井哲志、小林正弥

編集後記

●新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下で、いかに実習を実施するか、教育の質をできる限り保つためにどうするかなど、関係者の皆さまは心を砕かれてきたことと思います。今号の特集テーマ自体は、早い時期に挙がっていたのですが、この状況下での掲載には逡巡もありました。ただ今後、この経験も織り込んで実習体制が再構築されることを考えると、今、あらためて実習の意義や実施の在り方を考えておくことは重要と思われる。まだ予断を許さない状況ですが、本特集が今後の実習計画・実施のご参考となりましたら幸いです。(小林)

●厚労省研究班が新型コロナについて1~4月の超過死を推定したところ、ほとんど検出されないという結果でした(最大で138人)。これはインフル等の他死因の減少があまりに大きい影響と思われる、感染研も他因子の考慮が課題としています。裏を返すと、通常ある死因も非常に大きな脅威ということを再認識させられます。●活動抑制下ではフレイルも心配な健康影響の一つですが、今号のPHOTOでご紹介した飯塚市は、早くからコロナ禍のフレイル予防についてWEBページを作り動画等を公開されています。興味がある方はぜひ調べてみてください。(長原)

保健師ジャーナル 第76巻9号 2020年9月10日発行(毎月1回10日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2020, Printed in Japan

印刷:株式会社アイワード

1部定価:本体1,500円+税

2020年間購読料(送料弊社負担) 冊子版:本体14,280円+税、電子版:本体14,280円+税、冊子+電子版:本体17,280円+税

販売・PR部: ☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室: ☎(03)3817-5774 hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当:小林, 長原, 伊藤

🐦 www.twitter.com/hokenshiJ 📘 www.facebook.com/hokenshiJ 📷 www.instagram.com/hokenshi_journal [「保健師ジャーナル」で検索]

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】
【出版者著作権管理機構委託出版物】

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。